

2019年度 ロシア・ヴラヂーミル大学 学生交換事業 夏期海外研修派遣学生募集要項

1 趣旨と目的

この事業は、学校法人北海学園および北海学園大学とロシア・ヴラヂーミル大学との協定および学生交流要領覚書に基づき、北海学園大学学生の語学力の向上をはかり、日ロ両国の国際理解を深めるとともに、広く世界の動向に対する洞察力を養うことを主な目的とする。

2 派遣人数

10名程度（※参加学生が5名以下の場合は中止とする。）

3 派遣期間 **2019年8月20日(火)から2019年9月11日(水)まで**

4 申込方法

(1)応募学生は、以下の書類を入手し、期日までに事務部庶務課事務室に提出すること。

- 1) 応募者身上書（本学書式:事務部庶務課にて配布）
- 2) 参加誓約書（本学書式:事務部庶務課にて配布）
- 3) 健康診断証明書（5月17日以降に、自動証明書発行機で入手可能）
- 4) パスポートの顔写真のページの写し

※ ロシア入国には必ずビザが必要となり、ビザを取得するための招聘状をヴラヂーミル大学から得るためには、**5月24日(金)**までにパスポートを取得しなければならない。応募時にパスポートを持っていない学生は、その旨庶務課事務室に伝えること。

(2)申込期間：**2019年4月26日(金)～5月24日(金)16:00まで**

5 2019年度の研修

本学から学生をヴラヂーミル大学に派遣し、同大学が準備する学習プログラムをレベル分けされたクラスで受講する。学習プログラムは、ロシア語の習得が中心となり、この他、ヴラヂーミル・モスクワ等での社会・文化施設の見学及び体験のコースが組まれている。北海学園大学の教員1名も引率者として同行する。尚、ヴラヂーミルでの宿泊は学生寮とする。

6 応募学生の資格および条件

- (1)募集対象学生は、北海学園大学および北海学園大学大学院に在学する者。但し、研究生、委託生、科目等履修生、特別聴講学生は除く。
- (2)ロシアの社会・文化に興味があり、ロシア語学習に意欲のある者。
- (3)保証人の同意を得て、所定の費用および期間中の事故(疾病・傷害・死亡等)による費用を負担できる者。

7 費用の負担

- (1)参加学生は、札幌～ヴラヂーミル往復交通費(税金等を含む)、現地滞在費、海外旅行傷害保険料の他、ヴラヂーミル大学研修費用(寮費・授業料約30,000円、ロシア国内移動費等約35,000円)を現地にて支払う。但し、この研修を行うための運営費と引率費は北海学園大学が負担する。
- (2)参加学生の負担する費用は、1人約21万円の見込み。
* 為替レートの変動等により、変更される場合あり。
- (3)費用支払い完了後、自己都合で参加を取りやめた場合、所定のキャンセル料がかかるため注意すること。
- (4)招聘状の到着が遅延した場合、別途ロシアのビザ申請手数料がかかる場合がある。

8 費用の支払い

参加を許可された学生は、期日までに指定された方法で支払うこと。期日までに支払いのない者は、参加辞退とする。

9 派遣学生の選考方法および決定

派遣学生の選考は書類選考とし、6月上旬頃に決定する(事務部庶務課学術・国際交流掲示板で発表)。

10 海外旅行傷害保険

参加学生は、大学が指定する海外旅行傷害保険に加入すること。

11 事前研修会 参加学生は事前研修会(7月中旬頃予定)に必ず出席すること。

12 旅行取扱業者 京王観光株式会社

13 免責事項

(1) 万一の事故等の場合に備えて、参加学生には全員本学が指定する海外旅行傷害保険の加入を義務づけるが、その海外旅行傷害保険による補償のほかは、一切補償されないことを、参加者および保証人はあらかじめ承諾するものとする。

(2) 特別の事情により、この研修が実施できなくなった場合、参加予定者は支払った旅行代金の返還を受けるほかは、それによって受けた不利益について、何ら要求しないものとする。

(3) 留学を不相当と認める事情があり、本学が帰国、謹慎等を命じた場合、それによって生じた経費は、参加者またはその保証人が負担するものとする。また、それによって受けた不利益について、何ら要求しないものとする。

14 備考

(1) 派遣学生は、原則として新千歳空港集合・解散とする。

(2) 安全で有意義な留学を行うため、各自で必ず事前に留学先国・地域の治安状況等に関する情報収集に努めること。

・外務省ホームページ: <http://www.mofa.go.jp/mofaj/>

・海外安全相談センター(外務省領事移住部邦人保護課)

〒100-8919 東京都千代田霞ヶ関2-2-1

Tel: 03-3580-3311 内線2902, 2903

FAX サービス: 0570-023300

・海外安全ホームページ: <http://www.anzen.mofa.go.jp/>

・厚生労働省: <http://www.mhlw.go.jp/>

・世界保健機関 (World Health Organization): <http://www.who.int/en/>

(3) ロシア国内の招聘手続きの変更に伴い、招聘状の到着が遅延した場合には、実施を順延することもありうる。

(4) 質問等、問い合わせは庶務課学術・国際交流担当窓口(担当: 高橋, 熊谷)まで。